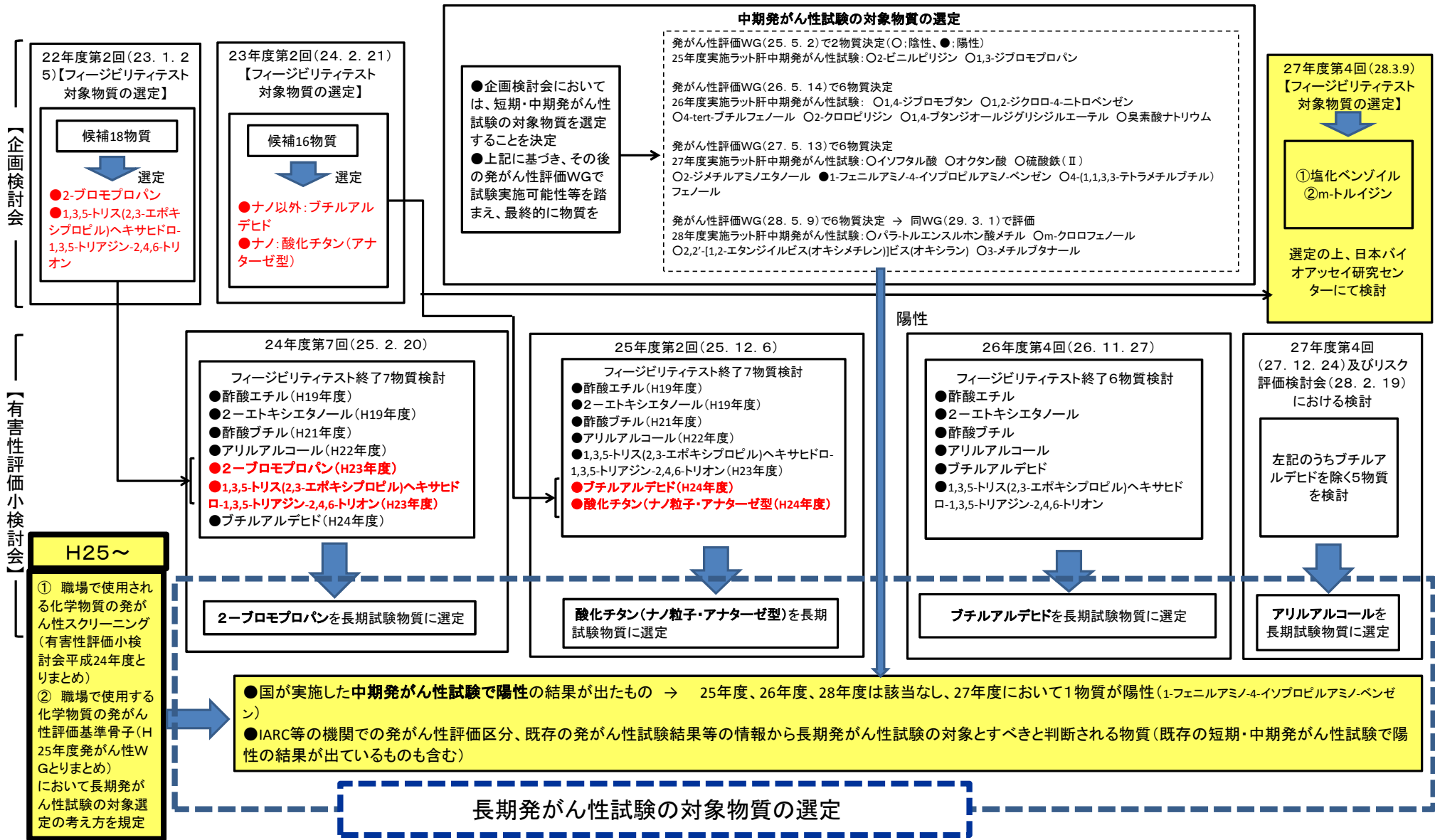


長期・中期発がん性試験対象物質の選定について



中期発がん性試験の対象物質の選定

発がん性評価WG(25. 5. 2)で2物質決定(○:陰性、●:陽性)
 25年度実施ラット肝中期発がん性試験: ○2-ビニルピリジン ○1,3-ジプロモプロパン

発がん性評価WG(26. 5. 14)で6物質決定
 26年度実施ラット肝中期発がん性試験: ○1,4-ジプロモブタン ○1,2-ジクロロ-4-ニトロベンゼン
 ○4-tert-プチルフェノール ○2-クロロピリジン ○1,4-ブタンジオールジグリシジルエーテル ○臭素酸ナトリウム

発がん性評価WG(27. 5. 13)で6物質決定
 27年度実施ラット肝中期発がん性試験: ○イソフタル酸 ○オクタン酸 ○硫酸鉄(Ⅱ)
 ○2-ジメチルアミノエタノール ●1-フェニルアミノ-4-イソプロピルアミノ-ベンゼン ○4-(1,1,3,3-テトラメチルプチル)フェノール

発がん性評価WG(28. 5. 9)で6物質決定 → 同WG(29. 3. 1)で評価
 28年度実施ラット肝中期発がん性試験: ○パラトルエンスルホン酸メチル ○m-クロロフェノール
 ○2,2'-(1,2-エタンジイルビス(オキシメチレン))ビス(オキシラン) ○3-メチルブタナール

●企画検討会においては、短期・中期発がん性試験の対象物質を選定することを決定
 ●上記に基づき、その後の発がん性評価WGで試験実施可能性等を踏まえ、最終的に物質を選定

H25~

① 職場で使用される化学物質の発がん性スクリーニング(有害性評価小検討会平成24年度とりまとめ)
 ② 職場で使用する化学物質の発がん性評価基準骨子(H25年度発がん性WGとりまとめ)において長期発がん性試験の対象選定の考え方を規定

●国が実施した中期発がん性試験で陽性の結果が出たもの → 25年度、26年度、28年度は該当なし、27年度において1物質が陽性(1-フェニルアミノ-4-イソプロピルアミノ-ベンゼン)
 ●IARC等の機関での発がん性評価区分、既存の発がん性試験結果等の情報から長期発がん性試験の対象とすべきと判断される物質(既存の短期・中期発がん性試験で陽性の結果が出ているものも含む)

長期発がん性試験の対象物質の選定